

村消防団の出初め式 避難先で最後の開催



観閲を受ける団員。この春学校が村内で再開するため、仮設体育館での出初め式は今年が最後です

1月7日、飯館中学校仮設体育館で、飯館村消防団の出初め式が行われました。式には、消防団員・女性消防隊・役場消防隊、合わせて98人が参加。村民の安心・安全な暮らしを守るべく、本年の消防活動に向けて、思いを一つにしました。団員らは、引き締まった表情で観閲に臨み、復興が進む村内の防火・防災に一層努めていくことを確認。あいさつに立った関係各位は、団員らの貢献に感謝を述べ、激励しました。優良消防団員の表彰と、永年勤続章の授与も、行われました。

松下さんが趣味の海釣りで 巨大ヒラメを獲ったどー！

松下一男さん(草野)が、相馬沖で、超ビッグなヒラメを釣り上げました。釣り上げたのは、昨秋11月12日の朝7時頃。松川浦の賀都屋(かどや)旅館「明神丸」の船上で海釣りをしていた時です。その全長105cm、重量約10kgという大きさは、昨年相馬港に水揚げされたヒラメの中で最大。趣味の海釣りを30年以上楽しんでいる松下さんでも、このサイズのヒラメは初めてでした。松下さんは、この巨大ヒラメを自らさばいて刺し身にし、隣近所にも配って大勢で味わったということです。



1 m超えのヒラメは滅多に上がらないそう。びっくりな大きさですね(写真提供/賀都屋旅館)

風とロックキャラバンが ふれ愛館にやって来た！

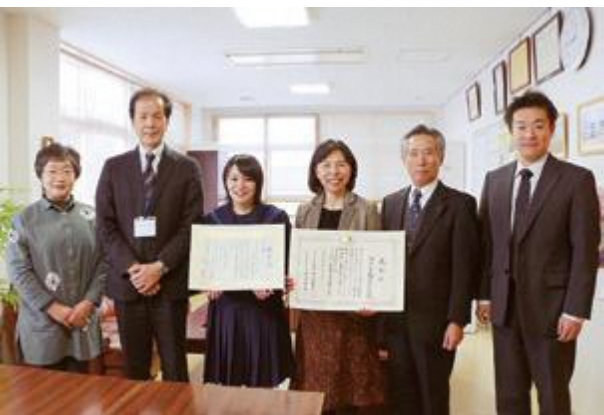


トークショーのようす。音楽ライブには「音速ライン」やスネオヘアーさんが登場しました

県内59市町村をめぐる「風とロックキャラバン福島」が、1月13日、交流センター「ふれ愛館」で開催され、トークショーと音楽ライブを、多くの来場者が楽しみました。トークショーには村商工会青年部の大内亮さん(八木沢・芦原)・森健一さん(上飯樋)・大井利裕さん(草野)、畜産業の山田豊さん(関根・松塚)が登場。それぞれが村の魅力や未来への決意を語りました。インフルエンザで欠席となった主催者代表の箭内道彦さんは、電話での出演で会場を盛り上げました。

「人権」を学ぶ中学校へ 法務省から感謝状

法務省と全国人権擁護委員連合会が主催する人権作文コンテストへの協力に対する感謝状が、飯館中学校に届きました。中学校ではコンテストを好機ととらえ、「人権」をテーマに道德の授業を行い、1学年と3学年の全生徒が作文を応募。3年生の大谷結美さんが「いじめ」をテーマに書いた作文は、県の奨励賞に輝きました。12月13日、福島地方方法務局相馬支局の新田公夫支局長と村の人権擁護委員が中学校を訪れ、法務省からの感謝状と表彰状を授与しました。



人権擁護委員や指導教員も出席した授与式。左端2人目から、新田支局長、大谷さん、和田校長

交流センターで初笑いを 「母心」の漫オライブ



テレビのお笑い番組「笑点」にも出演する実力派。次々とネタが飛び出し会場は笑っぱなし

漫オコンビ「母心」は、結成10周年を記念して県内59市町村をめぐる「福島感謝お笑いライブツアー」を行っています。村では1月19日に、交流センター「ふれ愛館」で、村商工会青年部主催の漫オライブを行いました。集まった村民は、テンポよくキレのある掛け合い漫オに大笑い。村の近況や公式キャラクター「イイタネちゃん」を題材にしたご当地漫オも飛び出して、会場をわかせました。終演後は、舞台を降りて、観客と触れ合うひとときも。気さくな一面も魅力の「母心」でした。

村も元気に物産をPRしました ふくしま大交流フェスタ

12月23日、福島県の物産やご当地グルメなどを紹介する「ふくしま大交流フェスタ2017」が、東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開かれ、村もブースを構えて、村内産米や、特産品などを販売しました。この催しは県の主催で、今年で11回目。村のブースにも、多くの来場者が立ち寄り、試飲や試食を楽しんだり、気に入った商品を購入したりしていました。かつて応援職員として村に勤務していた方など、ゆかりの方々も訪れて、村のブースを盛り上げてくださいました。



どぶろく・甘酒の試飲は大人気。多くの人が次々と足を止め、村の特産品ブースを楽しみました